

平成 28 年度 第 1 回評議員会（報告）

日 時 平成 28 年 6 月 2 日 15:50-17:00
 場 所 会議室
 参加者 学校評議員

	氏 名	役 職 等	推 薦 理 由	出 席
1	加 藤 敬 一	赤穂中学校教頭	地元中学校関係者	○
2	小 原 恒 敏	定時制振興会理事	定時制OB	○
3	下 井 節 子	前全日制 PTA 副会長	保護者の代表	○
4	田 中 清 志	(株)駒ヶ根管工業	地元企業の代表	○
5	西垣内 磨留美	長野県看護大学教授	地元大学関係者	
6	林 恵 美 子	同窓会副会長	本校同窓会の代表	○
7	山 田 秀 明	小町屋区区長	地元住民の代表	

職員

学 校 長	伊藤 信夫	生徒指導主任	村田 敏郎
全 日 制 教 頭	青木 修一	生徒会担当	倉澤 克弥
定 時 制 教 頭	竹内 豊一	3 学 年 主 任	林 秀孝
事 務 長	宮島 桂	2 学 年 主 任	市瀬 裕一(代)
教 務 主 任	田中 誠一	1 学 年 主 任	伊坪 一徳
商 業 科 主 任	小山 雅人	教 務 (記 録)	北沢 隆
進 路 指 導 主 任	熊谷 尚		

- I 授業参観 14:45 ～ 15:35
 II 学校評議委員会 15:50 ～ 17:00

- 1 学校長より
- 2 自己紹介
- 3 学校より
 - (1)学校目標
 - (2)学校の近況
 - ①生活指導
 - ②進路指導
 - ③商業科
 - ④生徒会
 - ⑤学年（1年・2年・3年）
 - ⑥定時制の近況

- 4 評議員様からのご意見・ご助言・質問 (は学校の対応の方向)
- ・授業を落ち着いて受けていた。静かに、まじめに取り組んでいた。
 - ・挨拶がしっかりできている。
 - ・子供たちの充実した姿が見られた。
 - ・勉強の環境にふさわしくない様子も見られた。整理・整頓のできる環境整備を。
 - ・飲料水など今後熱中症等の考慮も必要だが、けじめのある生活感を持ってほしい。
 - ・商業科の授業の中でアクティブラーニングによる風景が見られた。さまざまな授業の中で生徒の積極的な学びの姿を引き出してほしい。

わかりやすい授業を心がけることと、生徒の参加意欲を高めた授業を進めていく。授業評価を行うなど授業の改善へ結び付けていく。評議員会に報告する。

- ・入学したからには自信と自己肯定感を持って頑張ってもらいたい。
- ・自主性はわずかなきっかけで大きく伸びる。学校での自主性の育成方法はあるか。

生徒会や部活動が非常に活発で、生徒が生き生きと活動している。その活力を学習やコミュニケーションにも効果的に活かしていきたい。

- ・7月に参議院選挙がある。選挙権に関して学校ではどのように取り組んでいるのか。

模擬選挙を3月に行うなど社会科の授業を中心に取組んだ。立候補者の主張を聞き取る力や判断力が未熟であることから今後の指導などに研究が必要。

- ・歩きスマホ、公共の場所でのスマホの扱いなど安全で他人に迷惑をかけない使い方を指導してほしい。
- ・スマホに夢中にならず、周りの人への気遣いや自分の目で季節の色合いなどを感じる感性を大切にしてほしい。

SNSなどにおける問題も多くなっている。情報端末の使用法や情報に関するリテラシーなどについて常に注意、指導をしていく。

- ・地域の催し物に吹奏楽や声楽などに協力をいただき助かっている。
- ・ボランティア部の活動がありがたい。
- ・制服を制定してほしい。

P T Aなどを含め機会のあるところで地域からの意見を伺っていく。

- ・卒業後すぐに社会に出る生徒もいるので、社会人としての自覚や自信を高めていけるほしい。
- ・キャリア教育の生徒側からのとらえについて特徴はあるか。

生徒の具体的な意見や状況は把握していない。インターンシップや進路指導を通じて個々のキャリア形成の指導に努めていく。

- ・同窓会記念館の規模と利用計画について

8月着工、10月中完成の予定。2クラス規模の生徒が集会できるくらいのスペース。各種集会や自習、部活動等に活用したい。

- ・生徒の様子、大会等の結果の情報を中学校へも広報してほしい。中学生は結構見ている。

5 その他

第2回学校評議員会 10月 記念式典終了後に実施予定
生徒の活動など見える機会として計画する